

甲州市の人や暮らしを伝える

# 甲州

# らいじ

2016 vol.03

koshulife

わたしと甲州市。

ご自由にお持ちください

TAKE FREE



### Contents

- 03 甲州らいふについて
- 05 甲州らいふ♪ つたえ隊
- 06 Interview わたしと甲州市  
 田野十二神楽を  
 継承していく
- 10 えんざん朝市
- 12 甲州市ワイナリー探訪  
 vol.2 マルサン葡萄酒
- 15 WINE INFORMATION
- 16 FiND iT! KOSHU CiTY
- 18 甲州市を感じるお店  
 皆吉
- 21 甲州市の農業  
 農業、はじめました。
- 24 学生がいく！  
 ぐるり、甲州旅
- 27 甲州市お役立ち情報
- 30 甲州市ほうとう MAP
- 31 Photo DIARY  
 甲州らいふ♪ つたえ隊が見つけた魅力



甲州市の人や暮らしを伝える

# 甲州 らいふ。

自然と歴史と人が息づくまち、甲州市。

山梨県甲州市は、日本百名山で知られる大菩薩嶺をはじめとする秩父山系の自然景観に恵まれ、ぶどうやもも、ころ柿などの果樹栽培が盛んな日本でも有数の果樹産地です。

また、戦国の雄・武田信玄公の菩提寺として知られる恵林寺、ぶどう発祥伝説の国宝大善寺、江戸時代に甘草を栽培していたことから、甘草屋敷として親しまれている旧高野家住宅など、歴史と文化に彩られた地域でもあります。

東京から100km圏内。電車でも車でも約90分あれば来ることができる山梨県甲州市。

『甲州らいふ』では、甲州市のまち並みや人々の想いを伝えていきます。甲州市に来たことがある人も、今から知って来る人も、ありのままの甲州市を感じて、そこから自分ならではの「わたしと甲州市」を見つけてください。

# 春



- 4月12日 恵林寺信玄公忌「しんげんさん」
- 4月中旬 大菩薩山開き「介山祭」
- 4月18日 向嶽寺秋葉神社大祭「あきやさん」
- 4月29日 放光寺大黒天祭り
- 4月第4日曜日 甲州市ふるさと武田勝頼公まつり
- 5月8日 大善寺 藤切り祭り (関東三大奇祭)



約1300年前の行者の大蛇退治に由来します。5メートルの高さから切り落とされた藤つるをめぐり激しい争奪が行われます。

5月中旬 大菩薩トレッキング「新緑編」

- 1月14日 藤木道祖神太鼓乗り
- 1月中旬 田野十二神楽(県指定無形文化財)
- 1月中旬 一之瀬高橋「春駒」(県指定無形文化財)
- 2月11日～ 4月18日 ひな飾りと桃の花まつり

早春の訪れとともに、春花が咲き誇る季節にかけて甘草屋敷を彩るひな飾り。江戸・明治・大正・昭和時代のひな人形や、つるし雛がところ狭しと並ぶ様子は圧巻です。



# 夏

6月30日 菅田天神社 みそぎ祭り

茅の輪をくぐって心身を浄める祭りです。氏子たちは形代を持って神社に参詣し、納めた形代は塩川へ流されます。※形代(かたしろ)…紙を人形に切ったもの。



9月中秋の名月 塩山温泉祭り  
10月第1土曜日 甲州市 かつめまぶどうまつり

喜びにわく収穫の秋。1年のぶどうの豊作に感謝した祭りが行われます。



10月上旬 大菩薩トレッキング「紅葉編」  
10月第3日曜日 甲州フルーツマラソン大会  
10月第4日曜日 甲州市およっよい祭り  
11月上旬 かつめま新酒ワインまつり  
11月上旬 武田陣中ほうとう祭り

## 甲州市の四季を感じる、楽しむ。



# 冬



# 秋



現地で取材をしているのは…

## 山梨県立大学プロジェクトチーム 「甲州らいふ♪つたえ隊」

みなさんは甲州市といえば何を思い浮かべますか？ぶどうやワインだけをイメージする方が多いのでは？しかし、実際には他にもたくさんの魅力に溢れています。この無料情報誌「甲州らいふ」では、私たち「甲州らいふ♪つたえ隊」が発見した甲州市の魅力を発信していきます。甲州市を知っている人、知らない人。移住を考えている人、そうでない人。この情報誌を読んだ色々な人に魅力を伝えられたら嬉しいです。皆さん、これを読んでぜひ一度、甲州市に来てみてはいかがでしょうか？

公立大学法人 山梨県立大学 <http://www.yamanashi-ken.ac.jp>

発行元：甲州市役所 政策秘書課 制作/取材サポート：BEEK DESIGN

Interview 「わたしと甲州市。」

# 田野十二神楽を継承していく

Reporterは...



渡辺智実さん



丸山愛さん

甲州市大和町田野地区の伝統行事であり、長い歴史を持つ「田野十二神楽」。その伝統を受け継ぎ継承していくことへの想い、続けていくことの大変さ、そして魅力など、実際に演じている皆さんに取材しました。



## 田野十二神楽について

田野は、甲州市の最東端に位置する大和町の一地区である。そして「神楽」は、1656年に伊勢の国から移されたものであり、天照大神が岩戸に隠れたとき祈禱に舞った神楽である、と伝えられている。「神代神楽」、「祈禱神楽」とも呼ばれているが、舞が12通りあるところから「十二神楽」と呼んでいる。神楽は大きく分けて3部構成となっており、12の舞は1つを除いていずれも異なる曲で演奏は笛と太鼓で行われている。舞・演奏への参加は田野地区に住む少年以上の男性のみとの決まりが設けられている。「十二神楽」は、平成5年に山梨県指定無形文化財にも指定されており、田野地区での重要な行事の1つとなっている。

今回の取材では、田野地区長の平山健治さん、神楽当番長の佐藤修美さん、長年にわたって笛の演奏をしている重鎮の平山金吾さん、そして中学生の平山守文さんにお話を伺いました。

**丸山** 神楽は全部で何名の方で構成されているのですか？

**佐藤** 演者が約20人、笛や太鼓を演奏する人が5人、それに着付けなどの裏方も加えると30人以上の参加者が必要となります。昔は長男のみの参加だったのですが、今はずいぶん人が少なくなってきました。地区内のほとんどの男性に参加してもらっています。

**平山(健)** 笛や太鼓などの鳴り物は誰でもできるわけではないので、鳴り物をする人がいなくなって途切れてしまうことが他の郷土芸能の例でもあるので

すが、途切れないように頑張ってやってきました。昔、戦時中は若い人はみんな兵隊に行ったのですが、残っている人だけで欠かさず神楽をしました。

**佐藤** 続けていくには地域全体での協力が必要不可欠です。

**丸山** 舞の種類が12通りあるのですが、毎年覚えるのが大変では？

**佐藤** 役を毎年変えるのではなく、3~4年同じ役を演じてもらっています。自分が演じた役を後継者に教えつつ交代制で、という感じですかね。親子、その孫、といったように役を代々受け継いだりとかね。やはり限られた人数しかないので、中には同じ役を何十年も演じ続けている方もいますよ。

**平山(守)** 僕は小学2年生の頃から神楽に参加させてもらっています。最初は「笹の舞」という役でデビューし、今もこの役を続けています。初心者ほとんどこの役からスタートします。本番は未だに緊張



神楽当番長 佐藤修美さん

張りますが、人前で演じるという面で度胸がついたかなと感じます。今は教えて頂いたこの役を頑張って、将来はもっと違う役にも挑戦していきたいです。

**平山(金)** 私は、18歳から85歳まで毎年欠かさず笛を吹いています。若いころは色々な役もやりました。笛を習ったきっかけですが、元々は父が太鼓をやっていたので太鼓を習うように言われたんです。でも太鼓は大変だからやらせないとわれ、そこで笛を吹いてみたら教わってなくても音が出ました。教わらずに目で見て耳で聞いて指で覚えて練習しました。



平山金吾さん



平山守文さん





## 時代の流れの中で変わっていくことも考え紡いでいく

**渡辺** 神楽の練習について教えてください。

**佐藤** 練習は、本番の一週間ほど前から開始します。仕事終わりに公民館に集まって練習をしていきます。一週間毎日顔を合わせるの、みんながまとまり、つながるきっかけにもなり、地域の人間

関係にも良い影響を与えていると思いますね。今年の神楽もみんなで頑張ろう！という気にもさせてくれます。

**平山(健)** みなさん仕事もあるので、もちろん大変ではありますが時間になるとしっかり集まってきてくれますよ。そして短時間の中でも一生懸命練習してくれています。

**平山(守)** 最初の頃は、正直「行くしかないか…」という気持ちが強かったですね(笑)。今では毎年必ず正月にやるものなので精一杯やろうという気持ちです。

**平山(金)** 笛を吹きながら舞も見ています。間違っているとすぐ分かるので厳しく指導しています。

**渡辺** 神楽を演じる上で苦労した点がありますか？

**佐藤** 私は不器用なので(笑)、慣れない頃は苦労しました。体の柔らかさやリズム感なども大事になってきます。腰を落とす動きがいくつかあるのですが、これは長時間やっていると体に堪えますね。どの役も健康なうちしかできないことだと思います。

**平山(守)** 大変というより怖いのは、自分の勘違いで舞をしていることです。自分では正しく踊れていると思込んでいるので。でも終わったときは達成感があります。心の中でガッツポーズしますね。



田野区長 平山健治さん

**渡辺** みなさんにとって神楽はどのような存在ですか？

**佐藤** 1656年から続いているから、自分たちの代で絶やすわけにはいかないもの。楽しさ半分苦しさ半分です。絶やしてはいけないという、使命や責任は感じますね。毎年神楽ができるということは健康であるってことだから、それに感謝してまた1年良い年になりますよという気持ちです。

**平山(健)** 神楽を毎年できていることが喜びですよ。伝統を守っているという誇りを感じます。

**平山(金)** 実は33歳の時に大病をしたんです。私は笛を習っていたことで神様が助けてくれたと思っています。練習も欠かしたことはないから大切な存在です。地域がまとまっているからできることだし、お神楽があるからまとまっていると思いますね。



**丸山** 地域とのつながりはありますか？

**佐藤** 神楽の時期以外でも頭の隅っこに神楽の存在があって、普段顔を合わせるときも話に出てきたりします。

**平山(健)** 神楽があるからこそ、1つのものを作り上げている感覚がありますね。

**渡辺** 神楽の魅力は何ですか？

**佐藤** 1年間健康でいられることにつながっていることです。健康でいられたことへの感謝とまた健康でいられるよという祈願を込めています。

**平山(健)** 約360年続いて来た伝統芸能と舞いが12通りある非常に珍しい神楽で有ることだと思います。

**平山(守)** 地区のいろんな人と一緒にできることです。神楽以外にも行事があるときは積極的に参加しています。大人になっても田野に住みたいです。

**丸山** 甲州市の魅力についてはいかがですか？

**佐藤** 電車でトンネルを抜けて見る山の景色が素晴らしいと思います。甲州市の人はその風景を見ると故郷に帰ってきたなあとと思うんじゃないですかね。

**平山(健)** 人間付き合いが良いですね。声を掛け合います。小さいころから知っている人も多いから団結力もあります。

**佐藤** おやなぎさんという飾りを神楽を舞う数日前に各戸みんなで出勞して作ります。

**平山(金)** 日川溪谷の竜門峡ですね。新緑や紅葉が綺麗で素晴らしいです。天目山の栖雲寺も庭園が他にはない素晴らしいです。田野地区の人は人柄が良いです。40戸ぐらい平山っていう苗字だからね。元をたどれば先祖は一緒ですよ。みんな下の名前呼び合うし、まとまりがあってコミュニケーションが取れます。



## Editor's note 編集後記

**(丸山)** 始めは緊張していたのですが、皆さんとても温かく迎えてくださったのでリラックスして取材に取り組みました。本番も見学し、地域が1つになって神楽を作り上げていく様子を間近で見ることが田野地区の方々の団結力の強さ、そして長い歴史を持つ神楽への思いが強く感じられました。練習・本番後の宴会にも参加させてもらい、たくさんお話をお聞きすることができて本当に楽しい取材になりました！

**(渡辺)** 地域の団結力が神楽の歴史を作り上げているのだと思います。自分の目で見ただからこそ、それを強く感じる事ができました。





子供からお年寄りまで世代を超えた交流の場。  
「地域力」を上げる朝市。

Reporterは…

# えんざん朝市

毎月第3日曜日に開かれる「えんざん朝市」。この朝市は塩山駅近くの商店街の一角で開かれ、毎回イベントを行い、子供からお年寄りまでお互いに顔を合わせ交流する場となっています。「地域力」を上げることが出来る場として朝市を活用しています。そんな魅力ある朝市について、代表の桐原正仁さんと出店者の方々にお話を聞きました。



佐塚玲衣さん



大塚郁弥さん



大塚 この朝市をはじめたきっかけはなんですか？

桐原 「えんざん」ってキーワードで始めて、大々的というわけではないけど、いろんな人と関わられる、地域力を上げる活動ってことで朝市を始めました。ガチガチでやるより、例えば出店者同士で顔を合わせてその中でうまく回るといいよね。みんなで楽しくできる場としてもこの朝市は機能しています。ちなみにこの朝市は、「一葉まちづくりの会」が事務局をしています。この会の名前の由来は樋口一葉の両親が塩山中萩原出身ってことからきています。

佐塚 この朝市は今回で何回目ですか？

桐原 平成18年8月から今日(平成27年12月20日現在)で112回やっていますね。1回だけ大雪で中止になってしまいましたが。毎月第3日曜日にやっているのは、第1日曜日は勝沼で朝市をやっていて、第2日曜日は山梨市でやっていて、じゃあ第3日曜日っていう安易な考えからです(笑)。運がいいことに、この第3日曜日は雨が全然降ってなくて、ざんざん降りになったのは1回だけです。

大塚 朝市の今後の展望を教えてください

桐原 僕がいなくなっても、次の世代に受け継がれて、誰かが細く長く続けて欲しいということです。やめなきゃ失敗じゃないですからね。この朝市を始めたときから10年近く経っているけど、始めたときから道路を歩行者天国にして朝市をやりたいというのが目標なんです。まだ実現できてないですけどね。あと、朝市は駅の近くだから駅を核としたまちづくりができればいいなと。駅周辺をもっと活性化したいです。

佐塚 最後に桐原さんの考える甲州市の魅力は何ですか？

桐原 僕もここにしか基本的に住んだことがなくて、逆に魅力に気付かないかもしれないけど、心地いいんです。なにか困ったことがあれば助けてくれる。子育てにも田舎って最高なんですよ。親が近くにいるし、待機児童もないし、土地が広いから家を建てやすいし、騒音問題もないですから。都会だと、子供がバタバタうるさいからって保育園作れないなんてあるみたいけど、ここじゃそんなこともありません。例え

ば自分が通った小学校に通わせたいなんてのもできるし。のびのびと子供が育てやすいんです。その地域の特性を活かしていけばもっとよくなるんだろうと思います。また、元々あるものを活かした観光を目指していけばいいですよね。塩山だったら「甲州の鎌倉」って言われるほど寺院が多いです。でも、地元の人でも気付いてない人が割といるから、この先

気付く人が多くなるといいですね。あと人によって感じる魅力って違うからまだまだ探している途中です。

毎月第3日曜日開催  
開催場所：山梨県甲州市塩山上於曾1104(およっちょいプラザ)  
開催時間：午前9時から正午まで 主催：一葉まちづくりの会 事務局  
問：誰でも出店可能。出店希望＆問い合わせはこちらまで。  
TEL：090-3340-3098(桐原)

## えんざん朝市に出店のみなさんにもいろいろ聞いてみました。



雨宮商店 雨宮久幸さん

●朝市の魅力は？… 発足から約10年、お年寄りの方にも喜んでもらっています。お客さんとたくさんコミュニケーションがとれるところが魅力で、毎回おいしい魚の食べ方を紹介しています。  
●甲州市の魅力は？… 近所付き合いがたくさんあるところ。そして、なにより人が優しくまいるところ。



ユリの台所 秋山公一さん

●朝市の魅力は？… スタッフも出店者も人柄がものすごく良く、売っている人と買う人のつながりが強いところ。つながりの強さは他のどの朝市よりも強い自信があります。  
●甲州市の魅力は？… 人がいい。農村の観光地のような場所で、観光客を楽しませる魅力がたくさんあります。



ハンドメイド雑貨 Chocotton 坂野さおりさん 渡辺恵子さん

●朝市の魅力は？… 赤ちゃんからお年寄りまで、いろんな世代とのコミュニケーションがとれるところ。休憩所や子どもが遊べるスペースがあったり、季節ごとにイベントを行っているところも魅力です。  
●甲州市の魅力は？ 住んでいる人の人柄の良さと、歴史的建造物がたくさんあるところ。



甲州屋 山下義仁さん

●朝市の魅力は？… みんなでわきあいあいとふれあえる場所。食べて、飲んで、遊んで、時間を忘れて楽しんで、コミュニケーションがとれるところが魅力です。  
●甲州市の魅力は？… きれいでおいしい水と空気、そして、人柄が素晴らしい。そんな甲州市だからこそ、地域の方とのコミュニケーションが密にとれています。

## Editor's note 編集後記

### 引き継がれるえんざんのココロ

餅つきを地元のおばあちゃんたちに一から全部教えていただきました。餅つきといえば、杵での「つき」の印象が強いですが、その前の工程の「つぶし」という体重をかけて杵でもち米をつぶす作業が一番重要だと教えていただきました。ここで餅のおいしさが決まるそうです。すべてを自分たちで行うのは大変でしたが、できたお餅は機械

で作ったものより何倍もおいしく感じました。何よりもおばあちゃんたちの技術を次の世代にも伝えていきたいです。そして、このえんざん朝市を訪れていた子どもたちが楽しそうに餅つきをしている姿がとても印象に残っています。えんざん朝市の魅力のひとつでもある、世代を超えたふれあいを見ることができました。(佐塚玲衣)

### 地元の人の集い場

今回、朝市の餅つきに参加させていただきました。杵を振り上げたおろすという単調な作業ですが、全身を使い非常に疲れました。杵を決まったポイントに振り下ろすのは難しく、白の縁にぶつけてしまっただけで済んでしまったという話を聞きます。こうした地元のふれあいの場があるっていいなと思いました。次回もまた伺いたいです。(大塚郁弥)



# 甲州市 ワイナリー 探訪

甲州市には実に多くのワイナリーがあります。醸造家の日々の営み、この土地への想いを聞きに、学生たちと一緒に訪れました。

vol.2 マルサン葡萄酒

「ワインをつくっていること  
それ自体が楽しいなあ」

Reporterは...



丸山愛さん



渡辺智実さん



大塚郁弥さん



## 若尾果樹園 / マルサン葡萄酒 若尾亮さん

約300年前の江戸時代よりぶどうづくりが始まり、昭和32年に有限会社マルサン葡萄酒としてスタートしました。現在は若尾亮さんが会社の3代目の代表であり、家族経営という形でワインづくりを行っています。「マルサン」の名は丸に横棒三つという若尾家の家紋が由来であり、勝沼でも数少ない果樹園が併設しているワイナリーです。果樹園では、甲州、巨峰、デラウェアなどの有名な品種や、市場に出回らない珍しい品種も栽培しています。そしてワイナリーでは、全て勝沼産のぶどうを使った醸造が行われています。長い歴史のある果樹園を持つワイナリーとして、昔ながらのワインづくりを継承しつつ、「新しいマルサンのワインづくり」を目指しています。

●山梨県甲州市勝沼町勝沼311-1  
営業時間 8:30~17:00 不定休  
TEL: 0553-44-0160  
http://wakao-marusan.com



大塚 なぜこの仕事に就いたのですか？

若尾 もともと山梨に住んでいて、高卒で山梨から上京して、大学に進学して保育関係の勉強をしていたんだけど、大学3年の頃にバンドにのめり込んで、そこから30歳くらいまでバイトをしながらバンドをしていました。ある時、奥さんと山梨に戻ろうという話になったタイミングで、奥さんの実家がぶどう農家で跡取りがないって聞いて、それで婿として若尾家にきてぶどう農家とワインづくりを始めました。

渡辺 仕事を始めた時と現在での違いってなんですか？

若尾 最初は山梨がつまらないと思って上京したので、山梨に帰って来たときは墓場に戻る気持ちで帰って来たね(笑)。始めの頃、仕事は充実してたけど、楽しくないなっていう思いも正直ありました。でも今は「山梨を楽しもう」という人にたくさん会うことができ、山梨での暮らしがとても楽しいです。

丸山 ワインづくりの魅力はどんなところなんですか？

若尾 収穫から醸造まで、仕事のスパンが1年と長いのが面白いですね。場合によっては1年だけではなく、2年、3年と長くかかるところもワイン

ならではの。あとは甲州市のワインで言えば、気持ち悪いくらいみんな仲がいいってことかな(笑)。ここだと、みんなが良いワインをつくろうっていう気持ちで、自分と同じような若い醸造家を中心に集まって情報交換したりしてみんなでレベルアップしようとしているんです。だからゼロスタートで大変かもしれないけどなんとかなるね。そもそも、ワインをつくっていること自体が楽しいなあ。そのつくったワインをお客さんに買ってもらい、飲んでおいしいと思ってもらい、楽しい時間を過ごしてもらえたらこんなに嬉しいことはないです。好みは分かれれますし、もちろんクリームもたまにはありますが、それも全部ひくくめて魅力なのかな。ワインを通して人がとんとんつながっていくし、田舎に住む楽しさにも直結しています。自由度が高くリラックスした気持ちで仕事ができるのは家業の良いところ。ですが責任も伴います。ぼくは仕事とプライベートの境目がなくて、仕事は大きな生活の中の1つです。生活の中で感じたままワインをつくっていきたいですね。

大塚 ワインづくりで大変なことは何ですか？

若尾 仕込みの時期はプレッシャーも

あってしんどいですね。天候に左右されるとところかも大変かな。あと畑が始まると5時前に起きるので朝早いのは大変です。でも朝早く起きるとご飯がすごくおいしい。ワイナリーの人々の仲が良いのはお互い大変さが分かるからかもしれない。ワインの仕込みは肉体労働もあるし体力的に大変なところも含めて全部が楽しいですね。家業なので仕込みをしようとした時に子どもが風邪を引いて病院に連れて行かなきゃいけない時もあります(笑)。でも子どもたちに働いているところを見せられることは嬉しいですよ。子どもたちにはやっている仕事のことを「楽しい」と伝えていきます。

渡辺 どのようなワインづくりを目指しているのですか？

若尾 1つ1つの商品にこだわりや目標はあるけど、全体で考えると狙いがあるようなないような感じかな。やりたいことを全部はできない。でも勝沼の風土・気候を表現したワインをつくりたいとは思っています。強いて言うなら普段使いできるようなワインになってくれれば嬉しいですね。もちろん特別な日に使ってくれるのも嬉しいし、身近になってほしいんですね。僕自身ワインが生活の一部だから、そういう感じで飲んでくれればいいかな。





この先も今のような楽しい時間がずっと続いて欲しいですね。今まで続けてきたぶどうやワインの文化の一部として、ポジティブな意味で現状維持が最大の目標です。

**丸山** では、甲州市の魅力についてはいかがですか。

**若尾** 人、景色、ぶどう、ワインなどはもちろん、生活全てが魅力ですね。仕事をしていてふと空を見上げれば、いいなあと思うし、畑へ出ても気分がいい。景色の中でぼーっとしていても頭では仕事のことを考えてたりしますしね。時間の過ごし方が豊かになりました。東京に未練は全くないです。それよりも、この田舎でもっと楽しい



生活にしてやろうと思っています。そして実際とても楽しいですよ！山梨はつまらないところだ、というのは、昔の自分が勝手に決めつけていただけでした。“まちを盛り上げる・元気にする”という言葉自体はしっかりきいていなくて…。何かアクションを起こし、良いものを長く続けていくにはストレスを感じない方がいいと思っています。東京と山梨どちらが良いか、ということではなく、ここにいるからこそその楽しい時間の過ごし方というものも少し分かってきた気がします。僕と同じように「山梨を楽しもう！」と思っている人がたくさんいるのが本当に嬉しい。

**丸山** 移住希望者へのメッセージをお願いします。

**若尾** 挨拶を大きな声でしっかり！自己紹介をしましょう！そして仕事を頑張れ！基本的なことですけど、これが一番ですよ。認めてもらうにはやはりここからですね。ご近所付き合いは本当に大事です。



### Editor's note 編集後記

**(丸山)** 若尾さんは、心からワインづくりとここでの暮らしを楽しんでいらっしゃるということがお話を伺いながら強く感じられました。私も将来、若尾さんのように自信の持てるような生活をしたと思います。それと、実際にワインを試飲させてもらったのですが、とても飲みやすく美味しく頂きました！ありがとうございました。

**(渡辺)** いつも自然体で、ワインづくりや山梨での生活を豊かにしていることがとても魅力的でした。好きなことを楽しむ気持ちが大切だと思わせてくれました。

**(大塚)** 若尾さんは、のびのびと楽しく甲州市で過ごしている雰囲気を取材中感じました。大人になったら若尾さんのように生活したいなあと思いました。ワインの試飲はこのとき運転の関係でできませんでしたが、是非またお店を訪れてワインを買いたいです。



### 市内のワイナリーイベント

出典：各ワイナリーのHP

イベント名	日程	ワイナリー
ロリアンワイン祭り	9月中旬	白百合醸造
マンズワイン勝沼ワイナリー感謝祭「ワインまつり」	11月3日	マンズワイン
シャトー・メルシャンハーベストフェスティバル	10月中旬	メルシャン
奥野田ワインガーデン	7月上旬	奥野田葡萄酒
ルバイヤートワイナリーコンサート蔵コン	4月中旬	丸藤葡萄酒
塩山のワインを飲まナイト	ワインツーリズムと連動	塩山地域のワイナリー

### 市内のワイン関連イベント

出典：甲州市役所産業振興課ワイン振興室

イベント名	日程
甲州市かつぬまぶどうまつり	10月第1土曜
甲州フルーツマラソン大会	10月第3日曜
かつぬま新酒ワインまつり	11月3日
ワインツーリズムやまなし	11月第1週第2週の土日(予定)

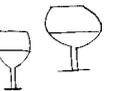


※ここで紹介するイベントは、申し込みや定員制、参加料が必要なものが含まれています。参加を検討される場合は、必ず事前にご確認ください。



### 甲州市のワインが飲めるおすすめレストラン

ショップ名	住所	電話番号
古壺(甲斐ワイナリー併設)	山梨県甲州市塩山下於曾 910	0553-32-2032
レストラン鳥居平	山梨県甲州市勝沼町菱山 4729	0553-44-3080
甲州完熟屋	山梨県甲州市塩山赤尾 671	0553-39-9651
レストランシャンモリ	山梨県甲州市勝沼町下岩崎 1453	0553-44-5556
エリソン・ダン・ジュール	山梨県甲州市勝沼町中原 5288-3	0553-39-8830
風	山梨県甲州市勝沼町下岩崎 2171	0553-44-3325
勝沼食堂パバソロッテ	山梨県甲州市勝沼町菱山 3577-6	0553-39-8763
ぶどうの丘 展望ワインレストラン	山梨県甲州市勝沼町菱山 5093 ぶどうの丘	0553-44-2111
カフェカーサ・ダ・ノーマ	山梨県甲州市勝沼町勝沼 3181	0553-44-5233
ビストロ・ミル・プランタン	山梨県甲州市勝沼町下岩崎 2097-1	0553-39-8245



### 甲州市のワインを数多く揃えている

#### ぶどうの丘

甲州市内のワイナリーのワインのみを約200銘柄取り揃えています。地下のワインカーブでターゲットを購入し、ソムリエ気分での試飲ができます。お気に入りのワインを見つけてみては。

住所：甲州市勝沼町菱山 5093  
電話：0553-44-2111



甲州市の暮らしの中に根付いた、歴史や文化、自然を見つけよう！

# FIND IT! KOSHU CITY

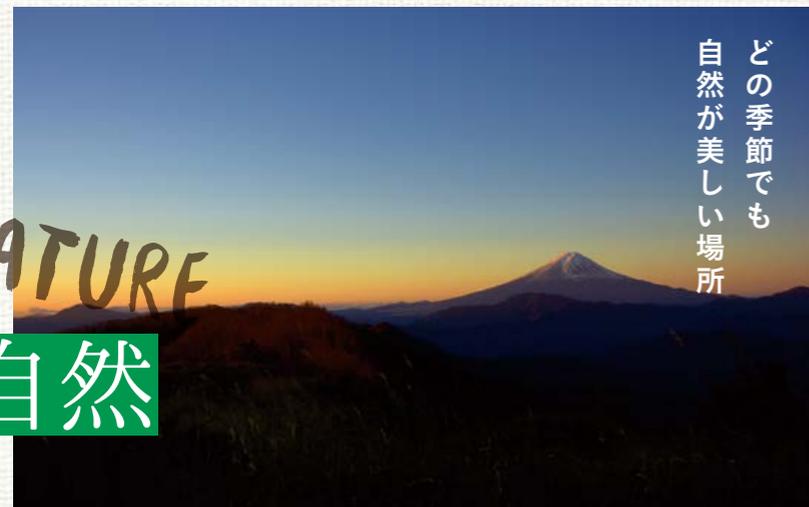
## 歴史文化

甲州市には、甲斐の国を治めた武田家ゆかりの神社仏閣が多数存在しています。信玄公の菩提寺である恵林寺をはじめ、武田勝頼公の菩提寺の景德院、日本最古の「日の丸の御旗」などを有する雲峰寺など、すべてが貴重な歴史文化財であり、武田家と甲州市のゆかり深さを感じることができます。また、国内のワイン産業にまつわる産業遺産なども数多く点在し、甲州街道など悠久の時とともに、いにしへの文化と先人たちの足跡が今に残る歴史に彩られたまちです。



知れば知るほど  
深みのあるまち

## HISTORY & CULTURE



どの季節でも  
自然が美しい場所



## NATURE 自然

総面積の約8割を森林が占める甲州市は、中里介山の長編小説「大菩薩峠」で有名な大菩薩をはじめ、大蔵高丸などの山々を有しており、それぞれの頂上から望む富士山や南アルプスは絶景と好評で、年間を通じて多くの登山客が訪れています。また、ツツジの群生地である三窪高原や、春から秋にかけて多彩な花が咲き誇る湯の沢峠、四季折々に表情を楽しめる日川渓谷「竜門峡」など、豊かな自然に囲まれています。さらに、ぶどうやもも等の果樹園が里山に広がる独特の風景は、個性豊かな農村景観として親しまれています。



フルーツ王国  
甲州市

## 果実

「フルーツ王国やまなし」の代表地である甲州市は、いちご、さくらんぼ、もも、すもも、ぶどう、柿などの果樹栽培を中心とした農業が基幹産業であり、季節に応じたフルーツ狩りが楽しめる日本有数の果樹産地です。また、日本ワイン産業発祥地・甲州市産のワイン品質の高さは国内外で高く評価されており、その優しい香りと味わいは多くのワイン愛好家を魅了しています。市内には150ヶ所を超える観光農園や、約40ヶ所のワイナリーがあり、様々な味覚を楽しみに毎年多くの観光客が訪れています。

## FRUIT



暮らしやすさは  
支え合う心から

## 暮らし



「地域ぐるみで支え合う心」が暮らしのなかに息づいている甲州市。子育て中のお母さんやお父さんには、充実した子育て支援サービス。高齢のみなさんには、健康で快適に暮らす生活支援。若者の仲間が楽しく交流できる環境づくりなど、誰もが満足できる「安心」があります。「甲州市で子どもを産み、育てる」「甲州市に住んでよかった」などなど、大きな笑顔があふれ、活力に満ちた「暮らし」が甲州市にはあります。

## LIFESTYLE

The shop which feels KOSHU. — 甲州市を感じるお店 —

# 皆吉

たくさんのお客さんがおいしいほうとうを求めてやってくる「皆吉」。自家製の味噌や麺、地産地消を意識した食材、築130年を超える古民家の店舗…落ち着いた皆吉の雰囲気はたくさんのこだわりと「頑張りすぎない」ご主人の姿勢が作り出しています。二代目のご主人にお店や甲州市に対する想いをお聞きしました。



「おいしかったよ、という一言が本当にうれしいんです」

**氣賀澤** このお店を始めて何年くらいですか？

**小沢** 店の創業は1987年で、かいじ国体の翌年です。その国体でうちの親父が民泊で香川のバトミントン女子の選手団に昔ながらのほうとうを出したらその監督が褒めてくれたことがきっかけで。親父が定年退職を機に始めました。

**氣賀澤** お父さんがほうとうを選んだ理由はわかりますか？

**小沢** 郷土食っていうのが強いと思います。味噌は昔から家で作っていましたし、ほうとうもお袋が昔から作っていたから、まるっきり新しいことじゃなくて今できることを絞ったらほうとうだったんですね。開店して3年4年はもう本当に一組、二組来ればいいんじゃないかなっていうのが現状だったんですね。でも近所の方が紹介してくれた観光情報誌に取り上げ

てもらってから一気にお客さんが増えました。その頃、私は東京で全く別の仕事をしていたんですが、いずれは山梨に住みたたくて両親が店を始めたのをきっかけに戻ってきました。最初は、私自身にはそんなに強い思い入れはなかったんです。

**氣賀澤** 戻ってきたのは何年前ですか？

**小沢** 私が25歳のときだから、20年ちょっと前ですね。

**氣賀澤** 帰ってきたときはお店に強い思い入れはなかったということですが、今はどうですか？

**小沢** そうですね、人の気持ちは常日頃変わるものだと思うんです。やっていくうちにだんだん面白くなってきて。最初は仕事をこなしている感じがあったけど、自分がメインになってこれじゃいけないと思ったんです。あとは結婚して、かみさんが尻をひっぱたい

てくれたのでここまで来たというのがありますね。でも、無理してあんまり頑張り過ぎないことも重要ですよ。頑張りすぎるとお客さんにも伝わっちゃうから。

**氣賀澤** その中で、やりがいはどんなところにありますか？

**小沢** 最近あったできごとで、箸袋に子どもが「おいしかった！ありがとう」と書いてくれたんです。彼らは正直に思ったことを口にしてくれるので、子どもの反応というのが一番楽しいというか嬉しくやりがいに繋がります。あとは、「おいしかったよ」というお客さんの一言が嬉しいですね。忙しい時でもお客さんが気長に待っていてくれるから頭が下がります。

**氣賀澤** ほうとうやお料理へのこだわりはどのようなところにありますか？

**小沢** 味噌は自家製です。野菜は前回の「甲州らいふ」にも載っているマル



皆吉 小沢 香山さん  
PROFILE

高校を卒業後、上京し服飾について学んだ皆吉二代目店主。専門学校卒業後はファッションショーの裏方などの仕事を経験し、20年ほど前に「いずれは地元に戻りたい」という思いから甲州市に戻ってきてお父さんが営むお店を手伝い始めました。

皆吉  
●山梨県甲州市勝沼町等々力1372  
営業時間 11:00~18:00 (売り切れ時は早じまい)  
水曜・第3火曜定休  
TEL : 0553-44-0004 <https://minaki.jp>

Reporterは...



雨宮育世さん



氣賀澤 望さん



神農園からも仕入れたり、勝沼の先輩で「天空カボチャ」を作っている方がいたりして、なるべく地産地消を目指しています。

氣賀澤 可能ならすべて地産地消にしたいというのはありますか？

小沢 そうですね。うちの畑で採れたぶどうでワインを絞ったり、大豆を育てて味噌の原料にしたり、やりたいと思っっていることはいろいろあるので、一歩ずつやっていけたらと思います。

氣賀澤 ほうとうの麺がとてもモチモチしていたのですが、何かこだわりはありますか？

小沢 水の量も塩の量も季節や気温によって変えています。冬はどうしても寒いから水の量を多く塩を少なくするんです。水が多くなると固くなってしまいます。このくらいの気温ならこのくらいの量っていうのは手の感覚ですね。

氣賀澤 その感覚が分かるようになるまでどのくらいかかるのですか？

小沢 3年くらいかな。小麦粉も温めても冷やしても良い国内産の小麦粉を見つけたいんです。

雨宮 小沢さんが感じる甲州市はどんな地域ですか？

小沢 果樹のイメージですね。ぶどうのイメージが強いかな。県内では自然が多いほうだと思います。商業施設などが建設され、自然が少なくなってきていると思いますが、甲州市は全然そんな感じではないですね。畑が多いことが逆に魅力になっていると思います。地域の印象は、人と人の密度が濃いことですね。内向きなところも多少は感じますが、仲良くなるといろんなものをおすそ分けしてくれますよ。本当にすごいことだなと思います。

雨宮 甲州市の良いところ、おすすめスポットを教えてください。

小沢 ぶどうの丘は子どもの頃から知っていて、ランニングコースで通るのですが、そこから見る南アルプスはとてもきれいです。特に、春と冬は最高です。奥多摩に抜ける道、柳沢とか笹子トンネルを抜けた盆地の風景も良いですね。一之瀬を越えたあたりは本当に言葉にならないくらい素晴らしいです。ワイナリーが点在しているところも好きです。

雨宮 甲州市をPRするために、やるべきと思うことはありますか？

小沢 みんな十分PRしていると思いますよ。ワインも県をあげて、ヨーロッパなどに進出していますし、甲州市を含めた峡東地域の景観を世界遺産という話も出てきていますね。伝えていく方法によっては、もっと伸びると思います。今は、価格面において真ん中がなくなり、高価で良いものか安価なものに人気が集まっています。でも真ん中でもいいものはお客さんが評価して

くれます。ぶどうもいいものを作っていけば、人が集まってくると思います。ワイナリーの方々に話を聞くけど、みなさん努力されています。

雨宮 最後に移住を考えている方々に向けて、メッセージをお願いします。

小沢 田舎暮らしは良いと思います。農業をやりたいという若者が増えてきていますよね。しかし、メディアはいいことしか言っていない。現実、そんなに甘くはないです。理想と現実との差を埋めるために悪い面、リスクも発信していくべきだと思います。スポットライトが当たるところしか言わないというのは良くないと思うんです。移住することに、いい意味で期待しないほうがいいと思います。まずは移住をする前に、甲州市に実際に訪れてどんなところかを見てほしいです。二地域居住から始めるのも、無理なく地域のことを知れるしリスクも減るのでいいと思いますよ。

### Editor's note 編集後記

(氣賀澤) 自家製の味噌を使っていたり、材料の地産地消を目指したりとお料理に対するこだわりからも、人生の大半を甲州市で過ごしているご主人が甲州市を大切に思っていることが伝わってきました。落ち着いたお店の雰囲気とご主人やスタッフさんの温かさといった皆吉さんにまた足を運びたいなと思いました！

(雨宮) お店の雰囲気もすごくよく、時間を気にせず、ゆっくりと過ごせる空間でした。お客さんの95%が観光客である聞き、山梨県内の郷土料理であるほうとうは多くの観光客の方々に親しまれているのかなと感じました。古くから続いている伝統や郷土料理を守り、継承していくことはとても大切であると思いました。

# 農業、はじめました。

高橋龍一さん

平山幹さん

2015年4月、山梨県甲州市の農業支援員として大学卒業を機に横浜市から移住してきた平山幹さんと高橋龍一さん。現在は共同生活をしながら、ぶどうの栽培技術を「やまいち」の三枝さんから学んでいます。なぜ農業なのか。最初は大きかった不安も生活していくうちに消え、農業技術をはじめ、甲州市に住む素晴らしさを知っていったお二人の今の想いを聞いてみました。

### Reporterは...



樋川真結さん



雨宮育世さん



氣賀澤 望さん



佐塚玲衣さん

樋川 なぜ甲州市に来ようと思ったのですか？

平山 ここに来たのは大学の時のゼミの先生から紹介していただいたのがきっかけです。

樋川 紹介を受けたとき目的があって、先生と話をされたのですか？

平山 学生時代、一般企業への就職活動をしているときに、自分が本当にやりたい仕事なのかなって疑問に思ったんです。とりあえず、仕事に就ければいいという感覚で企業に入るの

だったら、もっと世の中の役に立てることがあるのではないかと考えました。その時にちょうど「WOOD JOB!」という映画がやっていて、何かおもしろいから二人で見に行こうぜって(笑)。そこから林業や農業もありだなんて思って、ゼミの先生に話したら、現在農業を指導してくださっている「やまいち」さんを紹介していただきました。その後、一人で甲州市に行くのがあまりにも不安で。それで、彼(高橋さん)と一緒にしようとして結構しつこく誘いました(笑)。





氣質澤 高橋さんが甲州市に来ると決めた理由を教えてください。

高橋 結果が自分に返ってくる農業をやってみたくて思ったからです。でも決めるまでには3カ月悩みました。決め手になったのは、大学を半年留年したからです(笑)。それでも来ていいと言ってくれたことが迷っていたところでの後押しになったのは間違いないです。それに、彼(平山さん)が本当にしつこくうちに誘ってくれたんですよ。今思えば、それがよかったです。初めて言いますが、感謝しています。

雨宮 農業に対しての想いを聞きたいのですが、なぜ農業なのですか。

高橋 自分でやっただけ結果が出るという話もあって、それが一番の魅力なのかなって思います。会社は、働いて結果が残せるかどうかよく分からないです。

平山 後継者不足と言われているのに、なぜ目を向けなくて、人が多い企業とか、あふれかえっているところに行くのかなと疑問に思っ。それなら、林業とか農業とか人がいないと言われてるところで自分が活躍できるのではないかと感じて。

樋川 農業のやりがいを感じる瞬間ってどんな時ですか？



高橋 一通りの作業をして、収穫期に自分が作業した木にちゃんとぶどうがなっているとやって良かったなと思います。作業は大変だけど、それを見たら教えてもらいな

がらでもちゃんとできるんだって思います。

平山 自分も同じですね。でも今年のほうがやりがいは大きいと思います。今年は自分たちの畑を借りられたんです。

樋川 それはやりがいですね！

平山 ぶどうの売り方も農協に出すだけでもいいけど、若い人にも興味を持って欲しいので、横浜の人脈とか繋がりのある人に情報発信して、買う分だけぶどうを収穫してもらうのもぶどうに触れる機会になると思うんです。都会の人ってそういう機会があまりないから。あとは横浜で自分たちのぶどうをアピールするのも1つの手だと思います。宅配とかもできればいいですね。

氣質澤 甲州市の魅力はどんなところですか？

高橋 都会にはないぶどう畑などの自然の景色が魅力だと思います。それに地域の方が本当によくしてくれます。僕たちが都会に住んでいた頃は近所との付き合いが全くなかったんですけど、ここでは人との繋がりがあって、思いやりのある人がいて、人の温かみを感じます。

平山 人との距離が近く、コミュニティが小さいけれどしっかりしているところですね。小さいからこそ、いろんな面白い取り組みをしている人に出会うことができます。熱い思いを持った人がいて、いいなと思いました。

佐塚 10年後はどうなっていたいですか？

平山 結婚して子供もいて、親孝行もしたいです。こういう自分の生活ができた上で、ぶどうの栽培技術をきちんと身に付けて、ぶどうを作っていたいです。それに、自分が勝沼など甲州市



全体に人を呼ぶためのコーディネーターの様な存在になって盛り上げていきたいですね。農家の生き方って様々なんですけど、それを寛容に受け入れる姿勢を大事にしていきたいです。

高橋 今、お世話になっている三枝さんに少しでも恩返し的心を込めて“いいもの”を作りたいです。利益ももちろん大事なんですけど、そこは忘れたくないなって。あと、作業体験などを行って、農業の魅力を多くの人に伝えたいですね。本当に農業に興味を持って欲しいし、興味のある人たちを甲州市に呼びたいです。

佐塚 移住を考えている人にメッセージをお願いします。

平山 とりあえず来て欲しいです。実際に甲州市の自然に触れて、見て、良さを感じて欲しいです。ここは都会からもアクセスしやすい日帰りでも来られるから、まずは遊びに来て欲しいですね。あとは、農家を知ってもらいたい。ただ収穫だけして、一回の楽しさだけでなくリアルな部分を知って欲しいです。移住をして農業をやるなら、その厳しさも知ってもらいたい。それと、この地域のコミュニティの狭さとか…。みんな僕らのこと知っててびっくりすることが多いです(笑)。でも会話が多いし、みんな親切です。都会には無い近所付き合いとか新鮮です。

高橋 ぶどうは作業範囲が広いとひたすら同じ作業を自分の手で行わなければならないで大変です。でも、収穫期にぶどうがちゃんとなっているところを想像すると楽しくなります。頑張ろうって思います。あとは、周りの人がすごく気を遣ってくれてるんですが、人との距離が近すぎるのが苦手な人にはつらいと

ころがあるかもしれません。都会とは違う、新鮮に感じられるものがここにはあります。とにかく、来て、いろんなことを実際に体験してみたいです。



## Editor's note 編集後記

(樋川)お二人の話聞いてその行動力に驚かされ素晴らしいと感じました。人生の目標があって、全く知らなかった土地で農業に挑戦している姿はとて頼もしかったです。お二人の話から甲州市の魅力や素晴らしさが伝わってきて、都会から来たからこそ気づいた点も多くあり、移住者の考えが、甲州市の発展に大きく貢献するのではないかと感じました。

(雨宮)私とあまり年齢が離れていないにも関わらず、農業に対して明確なビジョンを描いていると感じました。実際に、ぶどう畑の様子を見て、急斜面で作業していることを知り、おいしいぶどうを作っている農家の皆さんに感謝しなければと思いました。取材を通して、平山さんと高橋さんはこれからの農業を背負っていく希望の星であるのかなと感じました。

(氣質澤)農業を通して県外出身の自分たちが甲州市のために何かできないかと葛藤し、お互いを尊重しあって生き生きと生活しているお二人がとても印象に残っています。私もお二人のように自分が納得できる道を見つけないと改めて悪い、刺激をもらいました！

(佐塚)いろいろな葛藤がありながらも熱い思いを持って、一生懸命農業に取り組んでいるお二人にお話を聞けて良かったです。そして、とてもいいコンビでした。はやくお二人が作ったおいしいぶどうが食べたいです。

学生がいく!

Let's Go!

Reporterは...

4人の学生が甲州市をぐるっと旅して、自分たちで写真を撮って誌面構成も自分たちで考えて作りました!

# ぐるり、甲州旅



雨宮育世さん



大塚郁弥さん



望月勝太さん



岡野佳歩さん



2月上旬、朝9時の勝沼ぶどう郷駅は結構寒いです。上着が欲しいですね。暖房の効いた車で15分走ると、目的地の**新田商店**につきました。お店の外観は少し大きい家か公民館のようで、中に入ると「ここはワイン工場か!？」と思うようなたくさんのワイン。「私は今日、ワインを買いに来たんだ!」という気分させられるような雰囲気です。店主の新田さんに聞くと、取り扱っているワインは県内だけで約60社、県外を含めた総数は500種類にも及ぶということでした。新田さんは私たちが「こういうワインってありますか?」と問いかけると、その中から「これなんかどう?」とすぐに紹介してくれました(「鍋に合うワインってありますか?」「何鍋?ならこういうワインが合うよ。」など)。また、そこから「そのワインはどういった人が作ったか」などのストーリーを教えてくださいました。さらに会話の中で「ワインに求めていること」を引き出してくれました。「ワインへの愛」と「ワインを作ってる人への愛」を感じる事が出来ます。ぜひ行ってみてください。皆も気づいたら買ってました。特にワインが好きな岡野さんは話を聞いて6本も買ってました。

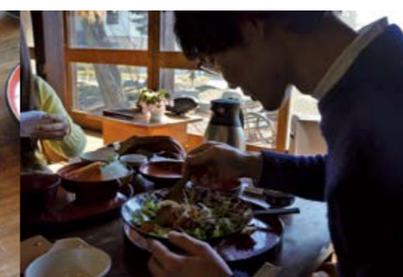
## 新田商店

●山梨県甲州市勝沼町休息1560 営業時間 8:00~18:00 (不定休)  
TEL : 0553-44-0464  
mail : nitta@peach.plala.or.jp

「まずワインを買いたい」というより「ちょっと話を聞きたい」って人が多いと思うんですよ。このお店をやっていくことで「そう思ってる人の入り口になれるといいな」と思いますね。ぜひお店に来てください。ゆっくり、しっかり話をしましょう!



次の目的地は**甲州 完熟屋**。新田商店から車で10分程で着きました。来る前に「古民家を改装した」と聞いていたのですが、本当に外観が古民家でした。11時半の開店までお腹をグーグーと鳴らしながら待ちます。中に入ると、おいしい匂いと、まるでおばあちゃんの家のような内装でのお出迎え(築120年、当時使っていた筆筒もありました)。店主の方に「さっき新田商店行ってきたんです」と話すと「お店のワインは新田さんのところで買ってますよ」とのお話。取材をしていく中で、繋がりが見えるのは嬉しいです。美味しそうな匂いの中、空腹に耐えながら待っていると、注文していた「野菜ほうとう」が来ました。まず思ったのは、野菜が大きい。山梨県内のものを使っています。本当に美味しかった。味噌は自家製で2年熟成させたものを使っています。地元の製麺所から仕入れている麺はもちもち。私たちみんなも大満足でした。食後のデザート、プリンも山梨県産の卵を使っていて、これも美味しかった。業者に頼まず、自分たちで改装した店内では、お客さんが談笑しているいい空気が流れています。私たちも次の予定もあるのに約1時間半、雑談。特に恋愛話で盛り上がりました。長居してごめんなさい。誰かと話しながらおいしいご飯を食べたい、と思った時に来たい場所です。みなさんもぜひお出かけください。



今回食べたメニュー  
「鶏肉ほうとう」1380円(税別)  
「野菜ほうとう」1280円(税別)  
「甲斐サーモン丼」1180円(税別)  
「自家製ローストビーフ丼(ランチ)」1000円(税込)

サーモンが  
とても新鮮で、今まで食べた  
サーモンの中で一番  
おいしかった

## 甲州 完熟屋

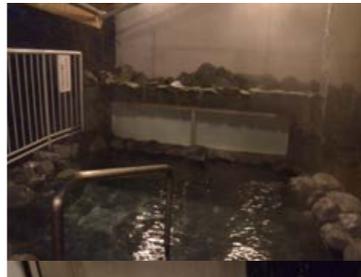
●山梨県甲州市塩山赤尾671  
営業時間 11:30~15:00 (昼)  
17:30~23:00 (夜)  
定休日 水曜日  
TEL : 0553-39-9651  
http://kanjyukuya.jp

次ページへ  
つづく!





最後の目的地はやまと天目山温泉です。完熟屋から車で40分程でした。山道を上り、上り、さらに上るとあります。山道にはまだ雪が残っていました。店内に入り、早速温泉へ。「世界的にも最高級の高アルカリ性のお湯は、肌ざわりがよく、入浴後の肌はつるつるに。」という誘い文句はその通り。肌ってあんなにつるつるになるものなんですね。女性メンバー、特に岡野さんと雨宮さんが感動していました。露天風呂では目の前に森林が広がっています。山の匂いを温泉に入りながら感じる事が出来、とてもリラックス出来ました。春夏秋冬、それぞれ違う景色が楽しめそうだったので、また季節を変えて来たいです。やまと天目山温泉からの帰り道で山道を下っていくとき、お店や道中を思い出して「ちょっと旅したなあ」と思いました。旅をすると、「明日からはまた元の生活に戻るんだなあ」と思ってしまう切なさもありますね。また行きたいです。皆さんもぜひ行ってみたいかがでしょうか。



### やまと天目山温泉

●山梨県甲州市大和町木賊517  
営業時間 10:00~19:00  
(受付は18:00、入浴は18:45まで)  
休刊日 水曜日(祝日は営業)  
TEL: 0553-48-2000  
料金  
市外大人 820円(1日)・510円(3時間)  
市外小学生 300円  
市内大人 510円(1日)・300円(3時間)  
市内小学生 200円  
※未就学児は無料  
<http://eiwa-kotsu.com/tenmoku.html>

車さえあればそんなに気構えずとも簡単に行けます。充実感はその簡単さとは裏腹に想像以上でした。今回行った3カ所とも、とても良い場所なので本当にオススメです。実際に足を運んだ場所なので、自信を持って言えます！ぜひ行ってみてください！



望月勝太さん



岡野佳歩さん



“おいしいもの”“地域に対して真摯に向き合う人”“自然を感じる憩いの場”、甲州市ならではの魅力がまるごと感じられた大満足な1日でした。今回の企画を通してますます甲州市が大好きになりました!!

塩山、勝沼、大和にあるお店や施設をぐるっと一周することができ、新たな発見がたくさんありました。お店のほうとうを初めて食べて、家で作るものとは全然違い、おいしさに感動しました。温泉もとても気持ちよく、また行ってみたいです。



雨宮育世さん



大塚郁弥さん

今回、初めて甲州市を旅してみました。いつもは取材で甲州市を回っていますが、自分たちで旅行をするという別の視点から見ると、改めて甲州市は素晴らしい所がたくさんある！ということを実感できました。今回のコースはごく一部なので、ぜひ皆さんもオリジナルのコースを作ってみてください。

# これで安心、解決！甲州市の移住に関する何でも相談。まずはチェック！ 教えて！甲州らいふ。

甲州市で暮らしてみたいけど、わからないことがたくさん。そんな疑問や、子育てのこと、住む場所の探し方など、甲州市に住む(甲州らいふ)ための情報をお届けします。

【実際に移住を検討されている方からよく聞かれる質問にお応えします。】

Q. 現在子育て中です。甲州市には、どんな子育てサービスがありますか？

A. 甲州市には、安心して妊娠・出産・子育てができる充実した母子保健・子育て支援の体制が整っています。主な子育て支援は次のとおりです。

- 妊産婦新生児訪問事業…妊娠中2回、新生児期に2回、2ヶ月児に1回、保健師と助産師の訪問が受けられます。
- ママの安心テレホン…妊婦さんや産後ママの不安解消のため、電話相談ができます。
- マタニティークラス…妊娠や出産についての詳しい知識やお産のためのコツ、育児情報や実技指導などを実施しています。
- 産前・産後ママのほっとスペース…妊婦さんや産後のママが赤ちゃんと一緒に気軽に立ち寄り、助産師や保健師の専門相談も受けられます。
- 乳幼児検診…3ヶ月、7ヶ月、1歳6ヶ月、3歳、5歳児を対象とした健診や2歳児親子歯科検診を実施しています。
- 育休学級…育児の知識や制度の学習、育児相談、仲間づくりの場を提供しています。

Q. 田舎暮らしをしたいと思ったら、まず何をしたらいいでしょうか？

A. 何を目的に移住するか、仕事や移動はどうするかなど、まずは自分がどんな生活をしたいかイメージしてみてください。その生活がこの地域で実現できるかどうかを考えてみてください。

Q. 交通機関はどのようなものがありますか？マイカーは必要ですか？

A. 市民バスを運行していますが、本数に限りがあります。事前に電話予約して利用するデマンドバス(塩山地域のみ運行)もありますが、マイカーがあれば移動の融通はしやすくなります。

Q. 地域になじむにはどうしたらいいですか？

A. 引っ越してきた自分が新参者という意識を持ちつつも、地域の住民に対して壁を作らずに接していくことが大切です。また、地域の行事に積極的に参加することで、住民と接する機会が増えてつながりが強まります。

Q. どのような気候ですか？

A. 夏は暑く、冬は寒いなど盆地特有の寒暖の差が大きいです。このため、ぶどうなど果樹栽培が盛んになっています。年間の降水量は少ないのですが、夏から秋にかけて集中豪雨が発生することもあります。

Q. 買い物ができる場所はどれくらいありますか？

A. 各地域にスーパーマーケットやコンビニエンスストアが点在しています。洋服や電化製品などは、地域によって店まで、やや長距離の移動を要することがあります。

Q. 農業を始めたい場合、まず何をすればいいでしょうか？

A. 甲州市では就農者支援制度推進事業を実施しています。優れた技術を持つ農業者(アグリマスター認定者)の指導の下で、就農に必要な実践的な技術を習得するのを支援するもので、毎年研修生を募集しています。その他、農地の賃借や就農に関することは、市役所もしくはJAフルーツ山梨(農協)にお問い合わせください。



Q. 住宅や土地を探すためのよい方法がありますか？

A. 不動産会社にご相談ください。その他、甲州市では空き家バンクを実施していますので、空き家バンクに登録されている物件にご希望のものがあれば、宅建協会が仲介の上、交渉することができます。

知って  
安心、充実の  
自治体サービス

# 甲州市の支援制度



移住を考えたとき、思いつくのが「自治体の支援サービス」です。住宅の購入やリフォームはもとより、子育て、福祉など、甲州市では定住・移住に関する様々な支援制度があります。甲州市に移住を考える方は、ぜひご覧ください。

子育て

## 産前産後

- 妊産婦・新生児訪問指導
- ママのあんしんテレフォン
- 妊婦健診の助成 ●マタニティークラス
- 産前・産後のママのほっとスペース
- ファミリーサポート制度

## 助成制度

- 児童手当 ●子ども医療費助成制度



## 甲州市住宅リフォーム

市民の居住環境の向上を図るとともに、本市の経済の活性化に役立てるために、市内の施工業者により行う住宅リフォーム工事費の一部を補助します。

対象住宅の増築、一部改築、改修、修繕、模様替え、設備工事等の対象工事費が20万円以上(消費税含む)のリフォームで、市内の事業所によりリフォームを行う工事。

- リフォーム補助…最高限度額10万円(工事費1割)
- 木造住宅耐震リフォーム補助…最高限度額20万円(工事費の1割)
- 空き家住宅リフォーム補助…最高限度額20万円(工事費の2割)

※補助金額は、千円未満の端数は切り捨てとなります。

住み

まずは  
住む場所を  
チェック!

# 空き家バンク制度



市では、賃貸もしくは売却を希望する空き家の所有者(建物の有効活用)と、田舎暮らしを希望するみなさんが出会えるよう、建物の有効活用と定住促進を目的に空き家の情報提供と移住希望者への情報発信をする、空き家バンク制度を設けています。

## 空き家バンクの制度概要図



### 【空き家バンクについてのお問い合わせ先】

甲州市役所 ☎ 0553-32-2111 Mail : info@city.koshu.lg.jp

甲州市ホームページ内 特設ページ「空き家バンク」もご覧ください。

アドレス(甲州市 HP) <http://www.city.koshu.yamanashi.jp/>



働く

## 就農定着支援制度(アグリマスター制度)

市では、就農を希望する方への農業技術の習得等を支援するため、優れた技術を持つ農業者(アグリマスター)の指導の下で、就農に必要な実践的な技術を習得する長期研修の支援制度を実施しています。

### ●支援内容

- ①栽培技術の習得研修 ②農業経営管理手法の習得研修 ③農作物の流通・販売に関する研修
- ④その他研修生の自立に認められる研修など ※研修期間中の研修手当として、1ヶ月あたり5万円を支給します。

## 空き店舗

市では、商店街の活性化と活力あるまちづくりのため空き店舗を利用した新規事業者に補助金を交付します。なお、事前に認定を受ける必要があります。

## 甲州市の概要 -Summary-

- 人口 33,214人(平成28年3月1日現在)
- 面積 264.01平方キロメートル
- 年間平均気温 13.7度(勝沼地点/平成24年記録/気象庁発表)
- 教育環境 保育所・保育園・認定こども園・小学校・中学校・高校・短期大学校
- 鉄道(JR中央線) 甲斐大和駅/勝沼ぶどう郷駅/塩山駅
- 自動車 中央自動車道・勝沼IC
- バス 新宿から甲州市への高速バスが運行。

## 甲州市の施設 -Facility-

- 公立保育所 4ヶ所
- 公立保育園 8ヶ所
- 認定こども園 1ヶ所
- 児童クラブ 14ヶ所
- 市立小学校 13校
- 市立中学校 5校
- 県立高校 1校
- 県立短期大学校 1校
- 病院・診療所等 32ヶ所
- 図書館 4ヶ所

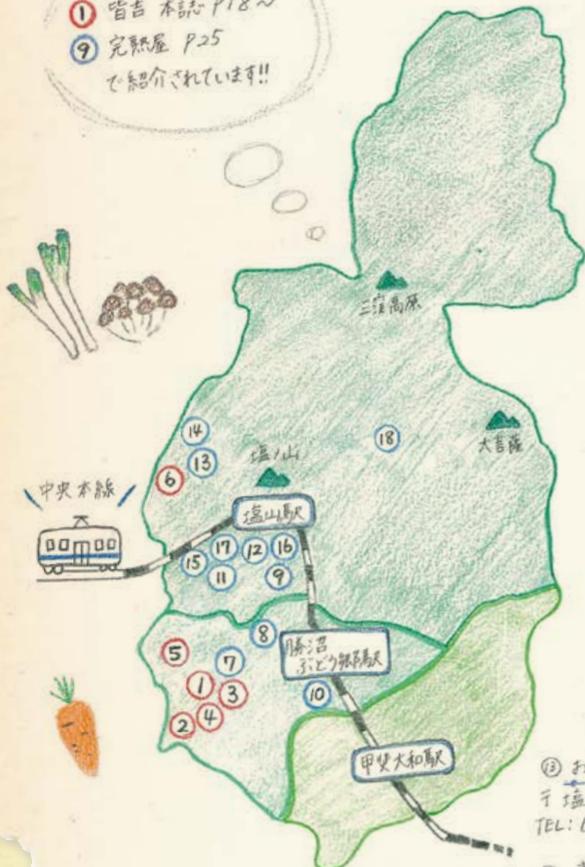


甲州市

# ほうとう

KOSHU HOTO MAP

- ① 皆吉 本誌 P18~
  - ⑨ 完熟屋 P25
- で紹介されています!!



ほうとうが食べられる店舗数の多さに驚きました。こんなにたくさん、それもそう遠くないところにお店があって、どこに行こうか迷っちゃうのでは...?と調べながら心配になりました。食べ比べてみるのもいいかもしれませんね。

マップ情報調査  
小島惟さん

イラスト・  
詳細情報調査  
佐塚玲衣さん

これだけお店があるとどのお店に行くか迷ってしまうそうです。このマップをもとにして、多くの方においしいほうとうを食べに何度も甲州市に足を運んでほしいです。

## 鉄道

市内には、甲斐大和駅、勝沼ぶどう郷駅、塩山駅と3つのJR中央本線の駅があります。新宿から特急で約90分の距離にある塩山駅には上下線合計で約30本の特急が停車し、行楽シーズンには勝沼ぶどう郷駅にも特急が停車します。年間では約100万人の方が駅を利用されるほど市民はもとより、観光客にとっても重要な交通機関です。

## 中央自動車道・国道など

甲州市内には、南部を通過する国道20号、中央部を横断する国道411号、北西部を通過する国道140号など基幹道路があり、首都圏を結ぶ中央自動車道(勝沼IC)があります。また、勝沼ICと各基幹道路を結ぶ「フルーツライン」は、眺望にも恵まれていることから観光客など多くの方々にご利用されています。



四季で様々な表情を持つ  
山梨県甲州市へ。

Post Card  
約90分  
都心から

## ほうとう専門のお店

- ① 皆吉 千勝沼町等々力1372  
TEL: 0553-44-0004
- ② ほうとう処 いしはら 千勝沼町藤井928  
TEL: 0553-44-0139
- ③ 頑固おやじの軒下ほうとう 千勝沼町勝沼761  
TEL: 0553-44-0632
- ④ ほうとう処 慶十庵 千勝沼町勝沼2893  
TEL: 0553-44-3535
- ⑤ かつめま 一味家 千勝沼町休庵1625  
TEL: 0553-44-1456
- ⑥ 田舎ほうとう 千塩山藤本1702  
TEL: 0553-33-8888

## ほうとうが食べられるお店

- |   |   |
|---|---|
| ⑦ 手作り料理 のび<br>千勝沼町小島1121<br>TEL: 0553-44-3358         | ⑧ 和食専処 思蓮<br>千勝沼町栗山5039 ぶどう山美術館横<br>TEL: 0553-44-2111 |
| ⑨ 甲州ほうとう 完熟屋<br>千塩山赤尾671<br>TEL: 0553-39-9651         | ⑩ 金銀月<br>千勝沼町栗山2609<br>TEL: 0553-44-2740              |
| ⑪ 七福本店<br>千塩山熊野56-3<br>TEL: 0553-33-2114              | ⑫ 七福 塩山駅前店<br>千塩山上が曽1858<br>TEL: 0553-33-7889         |
| ⑬ お食事処 はやし<br>千塩山小原敷1577<br>TEL: 0553-33-6004         | ⑭ 信玄館<br>千塩山小原敷2311-1<br>TEL: 0553-33-3555            |
| ⑮ 孝乃家<br>千塩山上が曽1863-4<br>丸山館ビル1F<br>TEL: 0553-32-2871 | ⑯ 栗飯 第10号店<br>千塩山上が曽836-1<br>TEL: 0553-33-2753        |
| ⑰ 高勝亭<br>千塩山上が曽1808-1<br>TEL: 0553-33-2415            | ⑱ おの屋<br>千塩山上が曽591<br>TEL: 0553-33-4303               |

「甲州らいふ♪ つたえ隊」が  
取材中にふと見つけた魅力

# Photo DIARY

それぞれの目線で撮る  
甲州市の人、場所、もの。



岡野佳歩さん

晴れた日に風を切りながら  
甲州市の町並みや自然を体  
で感じられる優れたもの!レ  
ンタサイクル!これに乗っ  
て甲州市内を駆け巡ったら  
気持ちいいだろうな~。甘草  
屋敷で借りて、いざ出陣!



サイクリングへGO!



渡辺智美さん

大和からの大自然

甲州市大和村に行った時、車  
からわざわざ降りて写真を撮  
りたくなった雄大な景色で  
す!空気が澄んでいて、山に  
かかった雲が幻想的でした。



望月  
勝太さん



勝沼やけい郷駅!!

勝沼ぶどう郷駅からの夜  
景、本当に綺麗でした。実際  
に見てほしいです!この写  
真はFacebookにもあり  
ます、そっちも見てね!

なぜそこに...。寒空の  
下、なぜか切り株の上  
で震えるワンちゃん。  
ハチ公みたいで笑っ  
ちゃいました。



小島惟さん



甲州のハチ公

神楽の本番前に行われ  
たどんど焼きにも参加  
してきました!寒空の  
下、だるまがこちらを  
見ながら燃やされてい  
る様子が何ともシュール  
な一枚です(笑)



丸山愛さん



だるまがー! a



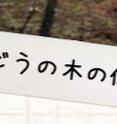
ぶどう畑からの景色!



佐塚玲衣さん

山々と雪、そして青空がと  
てもきれいでした。空  
気が澄んでいて気持ち  
がよかったです。ほかの  
季節にはまた違った  
景色が見られそうです!

冬になり、ぶどうの木は  
オフシーズンを迎えて  
います。この期間を  
経て、夏から秋にかけて  
おいしい実をつけます。  
ぜひ甲州市にぶどうを  
食べに来てください。



橋田修平さん



ぶどうの木の休憩



橋川真結さん



優しい料理

取材先でいただいた  
手作りのお料理。甲  
州市民の人の良さが  
伝わる味でした。

温泉の取材中に雪が。  
写真ではわかりづら  
いですが、なかなか乙  
なものでした。



大塚都弥さん

皆吉さんのおいしいほう  
とうを食べるために通る  
「くぐり戸」。実は大き  
く開くんです!夏は扉を  
全部開けて風を通して  
います。お店の雰囲気  
にぴったりなきれいな  
落ち葉があしらわれた障  
子の引き戸を開けるの  
はなんだかドキキ  
しました。



氣賀澤 望さん



落ち葉が素敵!

真っ直ぐ立っているのに、斜めに見える。目の錯覚って、とても不思議だな。傾斜が少しキツかった。



急な斜面!



雨宮育世さん

甲州市の人や暮らしを伝える

甲州  
らいふ  
koshulife

ご自由にお持ちください

TAKE FREE

甲州らいふ Vol.03 発行日：2016年3月25日

発行元：山梨県甲州市役所 政策秘書課 編集チーム：山梨県立大学

【お問い合わせ】山梨県甲州市役所 政策秘書課 ☎ 0553-32-2111 (代)

デザイン/写真/取材補助：BEEK DESIGN

<https://www.facebook.com/koshulife>